

# 進路だより

令和4年11月25日 恵那特別支援学校 進路支援部 No.3

## 【高等部 校内作業実習、現場実習・インターンシップ】

高等部では、9月～10月にかけて校内作業学習や現場実習・インターンシップを実施しました。高等部卒業後は働くことや作業的な活動が中心の生活になる人が多いです。これらの実習はそうした生活を模擬体験することにより、生徒自身が自分の力や可能性を確かめる大切な取組となります。それぞれが目標をもって2週間めいっぱいやりきり、自身の成長を感じることでできた生徒が多く見られました。3年生は最後の実習となりましたが、目標をもって取り組み、卒業後の進路に見通しをもつことができる良い実習となりました。



## 【ロック・ビレッジ・バザール (RVB)】

11月3日(木)、4日(金)の知新祭(学校祭)で、中学部と高等部の※作業製品の販売体験がありました。全学部の保護者の方に足を運んでいただき、対面での販売を実施することができました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

生徒は、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と声を出し、接客マナーを意識して販売することができました。また、自分たちが作った製品について説明しながら販売するなど、お客様と言葉を交わしながら笑顔で販売する姿がみられました。生徒たちが一生懸命作り上げた製品を、ご家庭でも大切に使用いただくと嬉しいです。

※当校の中学部の作業学習においては作品作りを行っておりますが、学習活動上生徒や保護者等のみなさまに分かりやすくするよう「製品」と表現しています。



高等部



中学部

## 【中学部 作業集中期間】

9月26（月）～30日（金）に中学部の作業集中期間がありました。

1年生は月曜日にオリエンテーションと目標決めを行い、火～木は1日中作業に取り組み、金曜日は高等部の作業学習を見学に行きました。2・3年生の1学期の作業集中期間は3日間でしたが、今回は5日間作業に取り組みました。初日の月曜日にオリエンテーションと目標決めを行ってからは、ずっと作業班の仕事です。1学期は3日間だったので、5日間も頑張れるのかと不安な生徒もいましたが、疲れても最後まで粘り強く作業をすることができました。その中で取り組める作業の幅が広がったり、長時間の作業に慣れたりすることができました。学部全体では『あいさつ、報告をしよう』を目標に取り組み、生徒も職員も意識して作業をすることができました。作業集中期間が終わってからも入室時・退室時のあいさつや「できました」の報告をきちんとすることができています。



### 【中学部作業班について】

紙工班

クラフト班

3年間で3つの班を体験します

陶芸班

- ・毎週火・木曜日の3、4時間目  
週に4時間、作業学習の時間
- ・作業集中期間が1学期と2学期に1回ずつ
- ・年に3回の製品販売体験（ロックビレッジバザール）

#### 〈働くための4か条〉

- ① 時間
- ② みだしなみ
- ③ あいさつ
- ④ 協力

働くために必要な力を  
付けることを目指します

ホームページ上で進路だより、進路状況を掲載しています。ぜひご覧ください。

URL <http://school.gifu-net.ed.jp/ena-sns/>

学校HP QRコード →  
スマホの読み取りカメラ  
から

